

2年半前から左の股関節が痛みます。左脚を前や横に振ったり、体重をかけたりすると痛み、1年前からつえに頼っています。脊柱間狭窄症と側弯症を抱えていますが、股関節の骨に大きな異常はありません。何をどこに相談すれば良いでしょうか。(69歳、女性)

変形性股関節症



安藤渉医師

股関節の障害をきたす疾患には変形性股関節症、特発性大腿骨頭壊死症、軟骨下腕弱性骨折などがあります。ご質問の方は整形外科を受診

現在の症状や2年半以上経過して症状が悪化したことを踏まえると、やはり股関節が原因であり、変形性股関節症の可能性が極めて高いです。もう一度整形外科でエックス線検査を受けることをお勧めします。

原因は、生まれつき股関節の受け皿が浅い「寛骨臼形成不全」の場合が多いです。関節を構成する軟骨は元には戻りません。形態異常のため、関節の軟骨にかかる負担が大きくなり、加齢とともに損傷しやすくなります。体重もリスク要因です。症状が軽度であれば減量

適応になります。以前のよう
に歩けるようになるなど手術
の満足度は非常に高いです。
まずは、股関節専門の整形外
科の受診をお勧めします。
(兵庫県整形外科医会、安藤
渉II尼崎市、関西労災病院・
整形外科・管理部長)
◇第1、3、4日曜に掲載し
ます。

人工股関節置換術も検討を

し、エックス線検査で腰の異常は認められても、股関節は正常と診断されたため、鍼灸や整体を受けていたと推察します。しかし、股関節の疾患は初診時に正常であつても、進行してからのエックス線検査で異常が明らかとなることも多いです。

歩行時に痛むようになり、次第に股関節の動きが制限されるようになります。悪化する
と短距離しか歩けず、痛みで
目が覚めることもあります。
エックス線検査で診断します
が、はっきりしない時は血液
検査、MRI検査などで他の
疾患と見分けます。

や、股関節周囲の筋力を鍛える運動療法を指導します。股関節への負担が少ないので陸上よりも水中ウォーキングがお勧めです。また消炎鎮痛剤による薬物療法も行います。
今回のように長い間日常生活に困るのであれば、「人工股関節置換術」という手術が